

# アカゲラ通信

2019年1月号  
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所



## 2019年元旦 初日の出は拝めたか

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

毎年元旦、初日の出を拝みに多くの人が訪れる旭山記念公園、今年もおよそ300人を数えました。

さて、初日の出は拝めたか?…これが今年は何とも微妙でした。

朝5時の駐車場開門とともに人が集まり始め、6時半過ぎにはおよそ100人が既に展望台で待っていましたが、その時間は小雪が舞い、風もあり、太陽が昇る南東方向の空も地平線から雲に覆われていました。

7時6分、日の出の時間、その10分くらい前から全体に空が白く明るくなってきてはいましたが、太陽は厚い雲の向こうで見えず、雲がオレンジ色に反射することもありませんでした。(右写真は日の出時刻1分後撮影)



直後に、初日の出は見られないと判断して帰る人の列が駐車場に流れ始めましたが、一方で3割くらいの人がまだ展望台に残り、雲の上や切れ間から太陽が顔をのぞかせないかと待っている様子でした。

事実、藻岩山の少し上方には雲の切れ間があり、雲も風で流れています、かすかな期待は持てました。

そして7時20分頃、雲間からオレンジ色の光の筋がさしてきました。「あの雲の裏に太陽がある」「初日の出だ!」という声が起きました。

太陽そのものは見えませんでしたが、太陽の存在を確かに感じ、ありがたみを感じました。(左写真7時23分)  
その後しばらく展望台の周りには2、30人ほどの人がいましたが、時間とともに風も收まり、穏やかな天気になってきた7時50分過ぎ、雲の小さな切れ間からさす太陽の光が筋状に延びる「天使の梯子」が見られました。(右写真7時50分)

2019年、平成31年の元旦は「初日の出」が遅かったせいか、例年より遅い時間まで人が多く残っていた、そんな旭山記念公園でした。



ところで、前日、2018年大晦日、日の出時刻少し後に写したのが左の写真ですが、この朝はおおかた灰色の雲が空を覆っていたものの、太陽が昇る地平線近くだけ空が開いて日の出を見る事ができました。

しかもその瞬間、旭山では小雪、冬の札幌は天気が変わりやすく、場所により天気も違うので、元日にもこのような感じで初日の出が拝めれば、と期待したのでした。

早くも鬼に笑われますが、来年はすっきり初日の出を拝みたいです。

## 「スノーシューナチュラル観察会」のお知らせ

旭山記念公園では、1月から3月まで月1回「スノーシューナチュラル観察会」を行います。

夏には入れない森の中の樹木を見たり、動物の足跡を追ったり、雪の季節ならではの自然が楽しめます。各月テーマを設け、旭山記念公園と旭山都市環境林の違う場所を歩く予定です。

●第1回:1月19日(土)「旭山記念公園と旭山都市環境林」

●第2回:2月16日(土)「旭山グランドキャニオンツアーア」

●第3回:3月16日(土)「ひと足早くふきのとうを見に行こう」

もちろん、どの回もメインは動植物とその跡などの自然観察です。

それぞれ参加費200円(保険代・資料代込み、スノーシューレンタル無料)

事前予約が必要です、参加ご希望の方は森の家までご連絡ください。

※森の家では、金土日祝日の開館日に常時スノーシューレンタル無料貸出しています、ぜひご利用ください。



## 「旭山野鳥人気投票」第2回結果発表

森の家で行っている「旭山野鳥人気投票」、第2回 2018年12月集計の結果を発表します。

第2回投票者総数 25人(1人2票=計50票)、票数は第2回のみのものです。

★1位:シマエナガ=5票

★2位:ルリビタキ=4票 ★3位:キビタキ=3票

★4位:アオバト、イカル、コサメビタキ、ゴジュウカラ、コマドリ、

シジュウカラ、ノスリ、ミソサザイ、ヤブサメ、ヤマガラ=各2票

●第1回との累計の順位も発表します(投票者総数61人、計122票)

★1位:シマエナガ=23票 2位:ルリビタキ=9票

3位:アカゲラ=6票 4位:オオルリ、ゴジュウカラ=5票

6位:クマゲラ、ハイタカ、ヤマガラ=各4票

シマエナガがダントツであるのは予想通りですが、票の伸びが当初予想よりも低下していく、より多くの鳥に票が分散してきているようです。特にルリビタキは、投票数が少ない第2回で得票率を伸ばしています。



■しかし…「裏人気」ナンバー1の鳥がいる…その名はキクイタダキ

この冬はキクイタダキがきわめてよく観察されています。(写真左)

園内の松がまとまって生えた場所を巡り歩けば必ず見られるというくらいに観察頻度が高いです。

常緑の松の葉を縫うように採餌行動をとりますが、写真撮影となるとなかなかいい場所に出てきてくれない、そこが難点。

だから、多くの人がじっと観察しシャッターチャンスを待っている。

キクイタダキ、次の人に気投票でランク急上昇するかもしれません。

### 1月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧いただけます。

★シマエナガ=12月から1月は、10羽以上の群れが森の家周辺から風の丘にかけての辺りでよく見られました。一方で、早くも群れから離れつがいで行動する姿もしばしば観察されるようになりました。この先2月中旬までは同じくらいの頻度で観察できると思われます。

★クマゲラ=12月下旬から風の丘周辺によく来るようになり、間近で見られることがあります。例年2月3月は観察機会が多くなりますが今年はどうか。

★オオアカゲラ=森の家周辺などでまだよく見られています、特に雌の個体。

★ノスリ=噴水広場の周りでこのところ観察情報が増えています。越冬か?

★ヒレンジャク=12月下旬に10羽ほどの群れが来て、まだ時々見られます。

★ツグミ=12月下旬から数羽が園内でよく見られるようになりました。

つり橋と噴水広場周辺に多く、時々アズキナシの実を食べに降りています。

★キクイタダキ=上述した通りよく見られます。

★モズ=例年より遅く12月下旬まで観察されていましたがもう南へ移動した模様。

★早くも囀りが=12月21日、ハシブトガラとゴジュウカラの「初鳴き」、今シーズン

初めて囀り声を聞きました。例年通りですが、「囀り」というと春を想像しがちですが、

真冬から囀り始める鳥もいるのです。キバシリとヒガラも囀り始めており、次にヤマガラが続きます。



### 編集後記

旭山とは関係ないですが…映画『ボヘミアン・ラプソディ』が日本での音楽映画歴代2位の大ヒットを記録、中学時代からクイーンが大好きだった者として、感無量、嬉しい限り。

映画のどこがそんなにいいのか巷で話題ですが、やっぱりクイーンの歌の良さに尽きるでしょう。

映画には出てこない These Are The Days Of Our Lives も感動の1曲、ぜひ聴いてみてください！



公式サイト

「アカゲラ通信」 第64号 2019(平成31)年1月6日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話 011-200-0311 (土・日・祝日10時~16時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>